北広島町社協だより

まごころ通信

平成20年1月18日発行

第10号

NPO法人 グループホームねむのき

特定非営利活動（NPO）法人

ねむのき村

北広島町壬生にあるグループホームねむのきでは、一人でも多くの障害のある方が自立した生活を送れるようになればと活動を続けておられます。

（5ページ関連）

主な内容

グループホームねむのき …… 1
新年ご挨拶・大注連縄づくり …… 2
あいあいスポーツ参加ん日 …… 3
発達障害って？ …… 3
認知症を知り、地域をつくる …… 4
通所介護事業所のアンケート調査 …… 4
福祉施設紹介 …… 5
共同募金北広島町支会から …… 6
まごころ（浄財寄付）…… 7
ボール運動教室・もちつき大会 …… 8

社会福祉法人 北広島町社会福祉協議会

□本所・大朝支所　〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝2513-1 大朝福祉センター内 電話(0826)82-2680 FAX(0826)82-2778

□芸北支所　〒731-2322 広島県山県郡北広島町細見161 電話(0826)35-0144 FAX(0826)36-3013

□千代田支所　〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田504 電話(0826)72-4670 FAX(0826)72-7071

□豊平支所　〒731-1711 広島県山県郡北広島町戸谷1088-1 電話(0826)83-0050 FAX(0826)85-0005

新年のご挨拶

北広島町社会福祉協議会
会長　高橋平信

新年明けましておめでとうございます。皆様方にはお揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

北広島町社会福祉協議会の活動に深いご理解、ご支援を頂き衷心より厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会も合併して三年目を迎え地域福祉を推進する中核的団体として誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指しています。

社会福祉協議会の理念は「私が私で良かったな　み～んな大好き北広島町」であり、住民参加、協働による福祉社会の実現、地域における利用者本位の福祉サービスの実現、そして地域に根ざした総合的支援体制の実現にむけて諸団体、福祉関係機関等々密接な連携を図り事業の推進に努めています。

戦後五十余年に亘って続いた社会福祉の仕組みも、社会の変化とともに大きく変わってきました。

福祉分野にも市場原理、競争原理が導入されサービスの効率性と成果がより求められています。社会福祉協議会も住民から期待されない社協はその存在意義を失うこととなり、社協の存在感をどう高めていくかが問われています。

当社会福祉協議会も問われる厳しい環境の中で、事業全般の見直しや効率化を一層進め、社協の使命達成に役職員一丸となって取り組んで参ります。ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

大注連縄づくり（おおしめなわ）

大朝注連縄会による大注連縄づくりが12月8日(土)、大朝福祉センターで行われました。平成2年より厳島神社からの依頼があり、以後ずっと作り続けています。

大注連縄は全長16尺5寸(約5㍍)、中心径は1尺8寸(約54㌢)にもなります。他にも「すぐ縄」「かけかん」【注：どんな形なのかは説明が難しいので、ご近所の詳しい方に聞いて下さい】等々、計250点を厳島神社に納めています。

大注連縄は本殿に飾ってありますので、厳島神社を訪れる機会がありましたらぜひご覧ください。

あい・あいスポーツ参加ん日「大運動会」開催

閉じこもりになりがちな障害者の外出機会づくりを目的とした、障害者スポーツ教室（北広島町社協では「あい・あいスポーツ参加ん日」と呼んでいます）を10月26日(金)、大朝Ｂ＆Ｇ海洋センターで開催しました。「あい・あい」とは「であい」「ふれあい」喜びの「わかちあい」の「あい」で、参加者みんなで分かち合いたいという想いがあります。

各種関係機関・団体にも協力をお願いし、この日は職員も含めて１１０名が集いました。運動会といってもチーム対抗戦ではなく、「この種目に参加したい人は何人でもＯＫ」「参加した人全員に、参加賞もれなく進呈」をうたい文句に、全７種目を全員で楽しみました。参加をためらっている人がいると、参加者同士で「一緒にでようや」「ウチがついとるけぇ」という声かけがあちこちから聞かれました。「運動なんてとても私には出来ない」とあきらめていた方も「それじゃあ出てみようかの」とほとんどの種目にみんな出場しました。参加される方全員笑顔がこぼれ、持ちきれない程の参加賞を持って帰られました。

～協力いただいた関係機関・団体～

北広島町身体障害者団体連合会、北広島町ソーシャルクラブ、千代田病院いさりび、ぴいぱぶワークショップ、芸北通所授産所さあくる、太田川学園豊平作業所、ボランティアグループ「大朝つくしの会」、北広島町(順不同)

ありがとうございました。

「発達障害ってなあに?」講演会開催しました!

発達障害という言葉を聞いたことはありませんか。見た目ではわからないために、授業中の落ち着きの無い行動や、計算はできても読み書きができないなどの言動が、「やる気がない」「ふざけている」「家庭のしつけが悪い」と誤解されてしまいがちな障害です。そのために、親子共に「生活のしづらさ」を感じておられます。

発達障害を住民の皆さんに正しく知って頂くきっかけとして、11月24日と12月１日に各地区で「発達障害ってなあに？」の講演会を開催しました。実際に発達障害の子育て経験のあるＮＰＯ法人ナチュラルビレッジ理事長の大和さよさんを講師としてお招きして、発達障害の基礎知識や関わり方などを学びました。

多くの方から、「子どもへの具体的な声かけや接し方を学ぶことができた」「子どもに対する見方や対応を考えさせられた」「どの子育てにも共通する話だった」「今後もこのような講演会を開催して欲しい」といった声を頂きました。この声をもとに、発達障害の子ども達やその家族が感じる「生活のしづらさ」を少しでも解消できるように、今後も講演会や学習会を企画していきたいと考えております。

認知症を知り 地域をつくる

認知症は誰にでもおこりうる脳の病気です。認知症への関心が高まっていますが、まだまだ正しく理解されているとは言えません。そのため、症状のはじまりに気づくことが遅れたり、気づいても誰にも相談できずに悩みを抱え込んでいる現実があります。

この病気を広く地域の皆さまに知っていただくことは、誤解や偏見をなくし、本人はもちろん家族を支えることにつながります。そこで９月から１１月にかけて「認知症を正しく知ろう」と題して、認知症予防事業「フォロー講座」を開催しました。講師に認知症キャラバンメイトの大倉和美さん、高橋美由紀さんをお招きして、認知症についてわかりやすく説明してもらいました。参加者から「周りの人も知っとかないといけんね」「予防することも大切よね」という声や「認知症になっても私らがいるから大丈夫よ」と力強い意見も。

１人ひとりが『関心を持つ』ことにより理解や協力が生まれてきます。認知症にかぎらず、困り事や悩みを「ちょっと手伝って～や」「助けてや」と気軽に言い合える地域社会の実現に向けて、支え合いの和が広がっています。

↑フォロー講座の様子

通所介護事業所のアンケート調査実施

北広島町社協通所介護事業所（デイサービスセンター）仙水園では、通所者を対象に通所介護に期待していること、食事の満足度などについて11月から２回アンケート調査を実施しました。

調査によると、家から出かけ多くの人と接することに生きがいを感じている人、食事を楽しみに通所されている方と様々でしたが、早速、調査結果をもとにプログラムを考えたり、食事のメニューも工夫したり新しい取り組みを始めています。

今まで文字に興味のなかった方も、アンケートには自筆で回答され、次回のアンケートを楽しみにされている方もあります。

通所介護の資質向上を目的に実施した調査も、利用者の意欲の向上につながったことが、スタッフにとって励みになっています。

これからも、皆様に期待される通所介護をめざして職員一同努力したいと思います。

福祉施設紹介

特定非営利活動(NPO)法人 グループホームねむのき

このコーナーでは、北広島町内にある障害者の施設を紹介しています。本誌前号（第９号）では、「太田川学園豊平作業所」の紹介をしましたが、今回は、壬生にある「グループホームねむのき」の紹介をします。

グループホームねむのきは、障害者（知的障害者・精神障害者）のグループホームで世話人さんの援助（食事、身の回りなどの支援）を受けながら、共同生活を行うところです。そこで生活している障害者の方は、家族と生活するのでなく、他の障害者とともに生活するという点が異なるだけで、家庭と同じです。

昼間は作業所やデイサービス等に通ったり、帰ってきてからは、風呂に入ったり、食事をしたり、テレビを見たり思い思い自由な時間を過ごすことができます。

家賃や食費、光熱水費等の生活費は年金や作業所等で得た給料で支払いをし、自立した生活を目指し毎日を送っています。

◇利　用　料：3,000円／月
◇その他費用：家　　賃 15,000円／月
　　光熱水費　7,000円／月
　　食　　費 20,000円／月
　　日用品費 10,000円／月

世話人さんの声

現在３名の利用者と４名の世話人さんが交替で援助し、毎日を楽しく送っています。このグループホームは、利用者に自然な感じで使ってもらえたらと、旧家をそのまま使っています。

これまで多くの障害者の方が、親と一緒に家庭で生活したり、障害者施設に入所して生活することが多かったと思いますが、一人でも多くの障害者の方が自立した生活を送ることができるよう願っています。

障害者のみでなく地域の方も気軽に寄って声をかけてください。

まだ、３名の利用が可能です。お気軽にお問い合わせください。

障害者が地域でいきいきと自立した生活を送ることができるように、地域住民の理解と協力のもと、こういった活動を地域社会全体で支援していくことが、障害者の社会参加を進めるうえで極めて重要なことです。ねむのきでは、現在作業所の設立も計画しておられるそうです。

●お問い合わせ先
グループホームねむのき
〒731-1515 北広島町壬生４２０－１
電話（fax）０８２６－７２－２８１６

平成20年度共同募金「配分助成金」申請募集のご案内

共同募金会北広島町支会では、次のとおり平成20年度の共同募金配分金申請募集を行います。

募集目的：北広島町内の皆さまからお寄せいただいた共同募金を町内の地域福祉や地域づくり等を推進している団体等の事業・活動を支援することを目的に助成します。

応募資格：①法人またはこれに準ずる組織並びに適正に運営がなされている団体
②区域全体に関する福祉事業を目的とする団体
③配分を受けて事業を行っていることを広報に努めていただける団体
④共同募金の趣旨に賛同していただける団体

助成対象期間：平成20年４月１日～平成21年３月31日

助 成 金：１件当たりの配分金額は限定しておりませんが、配分金の総額は今年度の共同募金の実績に応じて決定されます。

応募期間：平成20年２月１日（金）～平成20年２月29日（金）【必着】

応募方法：所定の申込み用紙が、北広島町社会福祉協議会本所及び各支所にありますので、直接、お近くの窓口で申請してください。

※ 詳しいことについては１月18日の役場配布物に募集のご案内を入れておりますのでご覧ください。

＊お問い合わせ先＊
共同募金会北広島町支会
（北広島町社会福祉協議会本所内）
電話（０８２６）８２－２６８０
担当：水野・大田

赤い羽根映画会
「レミーのおいしいレストラン」の報告

映画会募金額 104,715円

去る１２月７日（金）に共同募金配分金による親子映画会を千代田開発センターにおいて開催しました。当日は、小中学生や保護者を中心に４９０人もの多くの方に楽しんでいただきました。

この映画会の入場料の一部は、共同募金となります。ありがとうございました。

まごころ

社協活動を支える善意銀行

明るく住みよい町づくりに役立ててほしいと、次の方々から香典返礼、見舞返礼等あたたかいご寄付をいただきました。

この浄財はご趣意にそい、社会福祉事業資金として活用させていただきます。

ありがとうございました。

自 平成十九年十月一日
至 平成十九年十二月三十一日

芸北地区

【香典返礼として】

◇十月
川小田　片桐　賢　亡妻富士子
溝口枕　銘口　護　亡父　兼市

◇十一月
奥中原　安本　泰　亡父　謙二
米沢　玉井　順子　亡父　野田　繁男

◇十二月
小原　白　豊彰　亡父　武雄
苅屋形　河野　郁文　亡母　貞枝
空城　新田　實雄　亡兄　山廻　盛人
大暮　織田　俊明　亡父　要
南門原　安達　久雄　亡父　政男
川小田　斉藤　幸郎　亡弟　善雄

【見舞返礼として】

◇十月
中祖　栃数　幸一
土橋　上本　真理

◇十一月
奥中原　安本　泰　父　謙二

◇十二月
苅屋形　河野ナガ子
大暮　織田　俊明　父　要
苅屋形　足利　和英（さあくるへ）

【篤志寄付として】

◇十月
川小田　芸北モータース

◇十二月
川小田　上田　政行

大朝地区

【香典返礼として】

◇十月
山口県光市　福光　雄司　亡母　沙子
広島市安佐南区　清増　和幸　亡母　サカエ

◇十一月
岩戸　角井千恵子　亡夫　光嘉
田原中　土間　和義　亡父　春三
宮迫　和田　甫　亡父　良実
宮の庄　水田　真二　亡父　龍三
筏津上　橋渡　国江　亡父　大畑　寿郎
田原下　大畑　和憲　亡父　寿郎

◇十二月
伊関　佐々木国夫　亡母　ナツ
新庄　郷田　桂三　亡義妹恒子
宮迫　鈴木　孝之　亡母登美栄
四丁目　四俵　初貴　亡父　保

【見舞返礼として】

◇十月
郷の崎　栗栖キヌ子

◇十一月
別所　一谷　文男
筏津上　黒田　重三
立石　田中　秀人

◇十二月
西横　押山　陸士
間所　白砂　康幸
筏津上　橋渡　準
朝枝　寺本　国雄　妻　文江
小枝　柏田　孝則

【篤志寄付として】
◇11月
大朝ライオンズクラブ
ふるさとまつりバザー収益

千代田地区

【香典返礼として】

◇十月
本地　早迫多美子　亡夫　利春
有田　辰崎　春男　亡妻　豊子
蔵迫　薬師　勝　亡妻　索子
川西　隅坂ヒサコ　亡義母　スエコ

◇十一月
南方　山田　博文　亡母　文枝
壬生　三宅サヨ子　亡夫　貞夫
丁保余原　藤井信忠　亡妻　泰子
南方　佐々田和志　亡父　昭吾
後有田　茶屋原カツミ　亡夫　孝行
蔵迫　玉村　正司　亡母タマオ

◇十二月
惣森　大月　泰生・兵吾　亡父　保夫
舞綱　福原　光文　亡母ニ三子
有田　甲田スミエ　亡夫　誠
南方　立井　芳美　亡母フユミ
木次　江田チエ子　亡夫　鈴雄
古保利　春田千代美　亡夫　法昭
広島市　辰巳　武　亡母ハツノ
有田　藤原　澄江　亡母ハツノ

豊平地区

【香典返礼として】

◇十月
下石　溝下　忠視　亡義母　上森アサコ

今吉田　相川トク子　亡夫　豊
都志見　児玉　隆文　亡父　憲吉
都志見　打田　英孝　亡父　渉
戸谷　山岡　正司　亡母カズ子

◇十一月

阿坂　大倉　明夫　亡妻　信子
都志見　河野　定樹　亡妻　雅代
今吉田　神川　潔　亡母　住子
長笹　丸山　和典　亡母　逸枝
西宗　岡本セツヱ　亡夫　弘
戸谷　竹内　茂樹　亡母　定子

◇十二月

都志見　浅尾ミヨカ　亡夫　保
今吉田　古川　昭信　亡長男浩司
西区己斐東　古川久美子　亡夫　浩司
長笹　信本　崇明　亡母チエコ
阿坂　清水　公三　亡母　信本チエコ
海心寺　大谷　利幸　亡父　正美
戸谷　谷本　守　亡母トメヨ
戸谷　水上　修　亡母ツタヨ
西宗　榎木　勉　亡父　實郎

【見舞返礼として】

◇十月

吉木　前吉キミエ
吉木　森脇キミ子
戸谷　笠道　良一

◇十一月

戸谷　西田　主計

◇十二月

阿坂　寺田キヌヱ
志路原　佐々木辰巳
戸谷　森　宗人
西宗　迫本恵美子

※訂正とお詫び

まごころ通信第9号の6ページの中で誤りがありました。お詫びし訂正させていただきます。

誤：【退院の内祝いとして】
細見　山根三喜男　母クニエ

正：【見舞返礼として】
細見　山根三喜男　母クニエ

餅つき大会

12月27日（木）、ボランティアグループ「つくしの会」主催による餅つき大会が行われ、三斗（約45㎏）の餅米で約1,200個の餅をつきました。

保育所園児や児童も多数応援にかけつけ、当日は200人もの参加者で賑わいました。ぜんざい、きな粉餅、豚汁やチヂミ等のご馳走を食べながら、みなさん楽しいひとときを過ごされました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末には、突然の大雪でしたが、皆さんお変わりございませんか。

今年も北広島町社会福祉協議会は、「私が私でよかったな　み～んな大好き北広島町」の理念のもと、みなさんと一緒に北広島町の幸せを目指していきます。

ボール運動教室「でかけよぉや」でこんなに笑顔になったよ！（大朝編）

～参加者にインタビューしました～

今回は、大朝地区の加計紀子さんを取材しました！教室では、いつも一番前に座られご自分のペースに合わせて体操を楽しまれています。「昔から運動は苦手だったんよ」という加計さんでしたが、「でかけよぉや」に参加して体操が楽しみになったようです。その秘訣は、社協職員や同じ参加者からのお誘いの言葉と、笑顔の絶えない先生の指導にあるようです。「いつまでも健康でいたい」、地域の皆さんからの声かけが何よりの励みになるそうです。今後も「でかけよぉや」をよろしくお願いします。

さて、各教室では、今年最後の教室ということもあり、今年頑張った皆さんにサンタクロースからささやかなクリスマスプレゼントを渡されていました。

次回は、千代田地区を取材します。お楽しみに！

（先生とサンタと一緒に、はいポーズ！）

この広報誌は、皆様からの会費や共同募金の配分金によりつくられています。

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
PRINTED WITH SOY INK